

1. 2015 年度の総括

① 収支状況（表中の単位：千円）

決算見込み		予算比 (%)	前年比
収入	46,755	88.7	⇒
支出	38,383	101.2	⇧
経常収支差額	8,372	56.7	⇩



評価：年度初めは、コーディネート職員が育休明けの不安定な状況の中、昨年度末で数名の登録ヘルパーが退職されたが補充が上手くいかず、稼働率が上がらなかった。居宅で2名ほどが重度訪問に切り替わって収入が減ったり、介護保険に切り替わる方もおられたが、後半では行動援護資格を得たヘルパーが増え、利用者に移動支援から行動援護への切り替え申請を積極的に行なった結果、移動支援は減って、その分行動援護の収入が大幅に増えた。

② 職員配置と研修（職員数は2016年1月現在）

常勤職員が1名異動し、兼務職員がヘルパー専任、産休中の副主任が4月から時短勤務で復帰され、常勤6名という安定した体制で、年度途中から事務パートも増えて稼働率が上がっている。登録ヘルパーも順調に獲得出来てきている。年度途中からは、支援計画会議も実施出来た。研修では、法人研修は平日夕方が多い為参加率は低かったが、外部研修（主にすみすみ）で平日午前など、参加しやすいものも多く、職員での参加率を上げられた。ヘルパー勉強会では、例年通りの参加率だが、挙がるよう改善案を出し合い検討中。

③ 事業内容

夏キャンプは8月に実施で、15名定員に13名応募があった（2週間前に1名キャンセルがあったが営業が上手く行き13名で実施）が、冬キャンプは1月で7名定員に6名の応募、営業で7名となりヘルパーの確保も上手く行き実施出来た。残念ながら暖冬の影響で雪不足があり、冬らしい体験があまり出来ない結果となるが、毎年課題で挙がっていたヘルパー確保は上手く行った。また、毎月のお出かけ企画は、9・3月に定員割れ（7名定員）があったが、それ以外は応募も多く、特に6・7・12月が定員を大きく上回り、1回の参加人数が12名という回もあり、収入アップや新規登録ヘルパーの経験を積む機会となった。昨年度の課題だった定員割れは、送迎実施などで改善された。子どもお友達企画は、4回実施したがキャンセルが多く、次年度は違う形で実施を検討する。

④ 品質管理

ヒヤリでは、年度初めにコーディネートミスなど、連絡調整ミスで6件、派遣の遅刻が3件、転倒が1件挙げられる。昨年度多かった利用者の手荷物紛失は2件に減り、勉強会や通信などでの周知が徹底された成果が見られた。事故では5件挙がり、行方不明が2件、利用者に噛まれる行為が2件、運転業務で1件であった。事務作業ミスは、事務員パートが増えた事で軽減された。

2. 2016年度の計画

① 予算案のポイント

費目	予算(単位:千円)	前年比	算出根拠・購入物品など
収入	52,700	↗	昨年度の収入から、常勤職員1名分の収入を足す事で、昨年度の予算に達成できる見込みに。 ・平日：通院介助などで営業をかける。 不登校・引き籠りの方対象に移動・行動営業。 ・土日祝：なかなか依頼の仕方の分からない利用者中心に営業かける。
支出	41,256	↗	・ヘルパー自転車1台購入(5千円) ・企画業務委託費(5千円×12ヶ月) ・強度行動障がい支援者養成研修(10400円×5人) ・人件費：事務員1名(4万円×12ヶ月) 新人常勤職員1名(280万円)

② 主課題

1人でも多く登録ヘルパーを確保し、利用者のニーズに応えられる様にしていく。新規利用者についても、面談を実施し、隙間を埋める形で無理なく増やしていけるようにする。職員の研修を増やし、様々な派遣に対応できる人材育成、お互いが協力し合えるチームワーク作りを目指す。キャンセル時の営業を徹底して行ない、稼働率を上げる。

③ 年間事業計画(予定)

月	事業・行事等	会議	研修計画(内部・外部)
4	お出かけ企画(児童と大人対象)参加【毎月2回】 お友達企画参加【隔月1回】	ヘルパーミーティング【週1回】	内部研修・外部研修(職員対象) ヘルパー勉強会(登録ヘルパー対象)【毎月2回】
5			
6			
7	夏休み		
8	夏休み・夏キャンプ企画参加		
9			強度行動障がい研修(基礎)
10			
11			強度行動障がい研修(実践)
12	冬休み		
1	冬休み・冬キャンプ企画参加		
2			
3	春休み		ヘルパー交流会(2回)